

す。このように考えてみると、自分は「おかげさま」で生かされているのです。

自分の力で、だれの世話にもならず、生きています、生活している、と思っていたのは、間違いでした。

自分が苦勞して儲けたお金で、衣食も住も獲得したんだと言うけれど、大自然のお恵みや名も知らぬ無数の人々の御苦勞お世話にこめられた御恩や愛情は、お金では買えないものです。

こう考えてくると、私は、我が思いをずうつと越えた想像を絶した大きな大きなお恵み・恩愛につつまれて生きていくというより、生かされているではありませんか。それが『如』です。大きなお恵みの世界です。その『如』の底に流れている願い、それこそが、『如来の本願』、『如来の本願力』であります。

それで、親鸞さまは、間違いなく、『他力とは、如来の本願力』《根本の親心》なり』と、仰せられたのです。自身が生涯、どん欲と自己中の怒り腹立ちと暗いそねみねたみ心の持主でありながら、お他力さまを、本願力を頂き、包まれつつけていることを、思い出しては、お念仏をととなえて、喜ばせて頂きましょう。

住職日々随想

ついこの間、新年を迎えたかと思つていましたが、はや二月、つくづく、時の流れはひとときもとどまる事を知らぬものと、改めて思い知らされます。

今年の新年のご挨拶に「ただなれど、ただになるまで、ただならずただになりえて、ほんにただただ」という、ある老僧のうたをご紹介させていただきますました。そこには弥陀をたのむ、一念の心の開けが伸びやかに詠われています。

版画家の棟方志功の晩年の言葉にも、「とうとう自分も、自分の作った作品に責任を感じなくてよくなりました。」と述べておられます。

そこには自身の作為でもって作品を仕上げるのではなく、作品の方から呼びかけ、呼び覚まされて作り上げていく、大いなるお働きに対する謝念があふれているように思います。

つつい俺が私がつが、選ばず、嫌わず、見捨ない、無条件に受け入れて下さつてあるお働きに、常に想いを馳せたいものです。

二月の行事

○8日(金) 午後5時

第五組公開研修会

講師 富山教区

圓常寺住職

柴田 秀昭師

○12日(火) 午後2時

門徒女性聞法のつどい

歎異抄第13章

○16日(土) 午後4時

祥月講/同朋の会聞法会

講師 念仏寺 土井 紀明師

○21日(木) 午後2時

仏教民謡踊りの会

○25日(月) 午後2時

仏教コーラスの会

三月の行事

○10日(日) 午後1時

おみがき 清掃ご奉仕

○16日(土) 午後2時

6時 春季彼岸永代経法要

ご講師 妙蓮寺 楠樹 章磨師

○25日(月) 午後2時

仏教コーラスの会

○28日(木) 午後2時

仏教民謡踊りの会

*右記以外にも、当寺坊守着付け教室講師をお招きしての大人の書道教室も行っています。詳細お問い合わせは当寺まで

*尚、本年平成25年11月10日(日)

に安泉寺宗祖親鸞聖人750回 御遠

忌法要を勤修いたします。鋭意準備中でございますので、どうぞご

予定くださいませ。